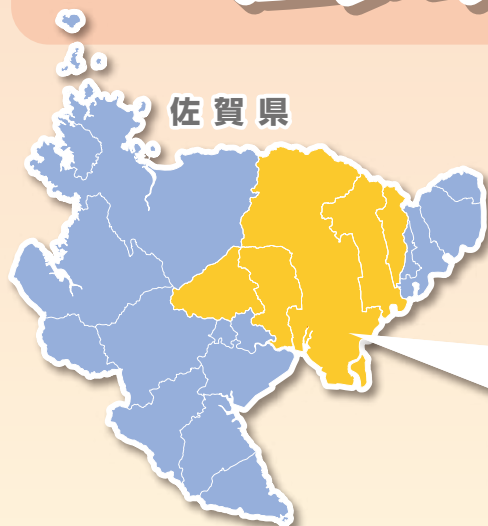


佐賀中部 広域連合だより

2011.12

Vol. ③



佐賀中部
広域連合は
4市1町の
共同運営です



佐賀市、多久市、小城市、神埼市及び吉野ヶ里町の4市1町では、佐賀中部広域連合という特別地方公共団体で、広域的な行政運営に取り組んでいます。本広域連合では、介護保険・消防の業務を行っています。

介護保険のお知らせ

2~3

消防のお知らせ

4~5

広域連合議会のお知らせ

6~7

圏域内イベント情報

8



この広報誌は
ベジタブルオイルインキ
を使用しています。



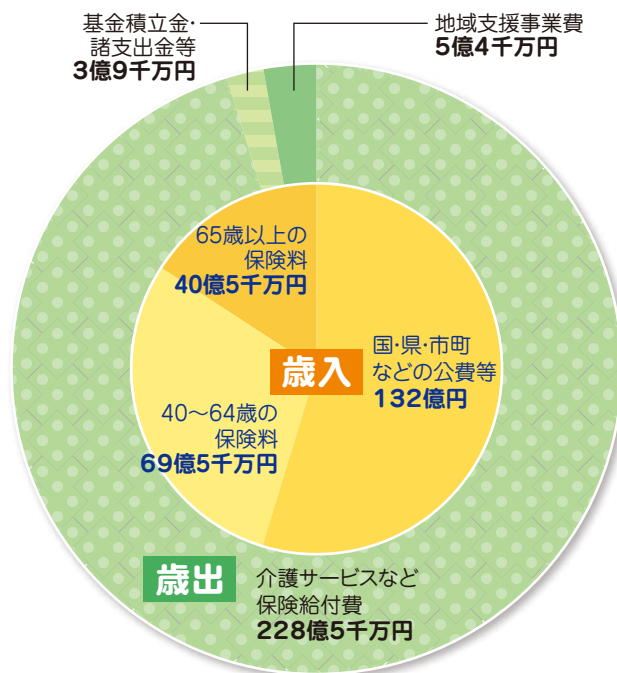
佐賀中部広域連合

佐賀市／多久市／小城市／
神埼市／吉野ヶ里町

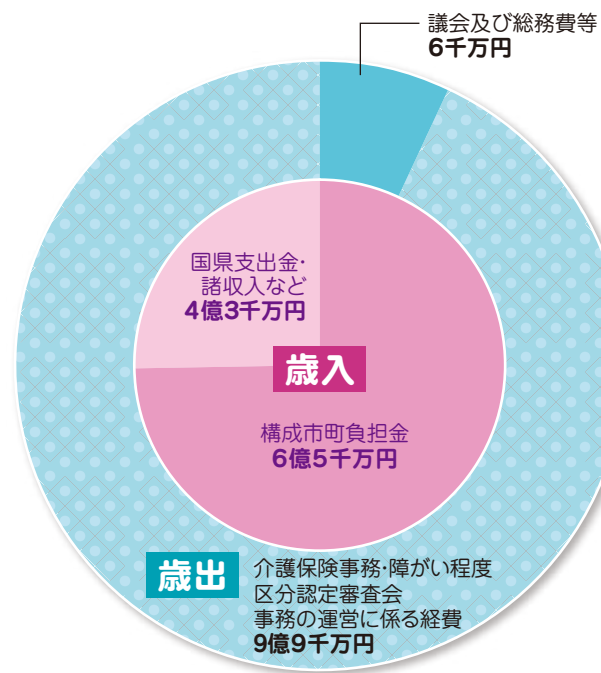
平成22年度 一般会計及び介護特別会計決算の公表

8月定例議会において、平成22年度に執行した、一般会計（歳入10億8515万円、歳出10億5443万円）、介護保険特別会計（歳入242億807万円、歳出237億8635万円）、消防特別会計（歳入40億3543万円、歳出38億9154万円）の3つの決算を提案し、原案通り認定されました。ここでは一般会計と介護保険特別会計の決算概要をお知らせします。（※千万単位のため、円グラフの歳入歳出のそれぞれの合計は上記の金額と必ずしも一致しません。）

平成22年度 介護保険特別会計



平成22年度 一般会計



介護保険料の納付は便利な口座振替で

12月中旬に普通徴収対象者の方へ介護保険料納入通知書をお送りした際に、口座振替依頼書（ハガキの形状）を同封しています。

記入例を参考にして記入・押印のうえ、広域連合まで送付してください。

口座振替を開始する場合は、広域連合からお知らせします。口座振替申込の受付の翌月の納期分から、ご指定の口座から自動的に保険料が振り替えられるようになります。（例えば4月受付の場合、5月分から口座振替となります。）

毎月、金融機関の窓口まで出向く手間も省けて大変便利です。是非ご利用ください。

介護保険料についての問合せ先

業務課 賦課収納係 TEL 0952-40-1135 FAX 0952-40-1165

介護保険を利用する主な原因疾患

認定結果	要支援 1～2	要介護 1～5
第1位	関節疾患 36.9%	認知症 35.8%
第2位	脳血管疾患 12.9%	脳血管疾患 22.0%
第3位	骨折・転倒 11.7%	関節疾患 9.5%
第4位	認知症 11.1%	骨折・転倒 9.0%

（統計／平成22年 佐賀中部広域連合管内の
要介護認定申請より）

佐賀県認知症コールセンターが 開設されました（H23.8月～）

認知症の方や家族の方が抱える悩みは多岐にわたります。一人で悩まず、相談してみませんか？

【電話番号】0952-37-8545

【受付時間】週3回（月、水、金）

※祝日、年末年始除く午前10時～午後3時

【相談員】公益社団法人認知症の人と家族の会佐賀県支部会員

あなたも一緒に支えてほしい 認知症サポーターになりませんか？



あなたのまちの認知症サポーター

H23.3.31 現在	サポーター数 (メイト含む)
佐賀市	6,801人
多久市	234人
小城市	937人
神埼市	132人
吉野ヶ里町	190人

わたしたちにとって身近な問題である認知症について理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者が『認知症サポーター』です。

あなたの地域に認知症に対する理解を持ち、声かけや見守りといった簡単な日常生活の助けを行う近隣のサポーターが増えれば、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らしていくことができるようになります。

高齢者福祉の担当課	電話番号
佐賀市 高齢福祉課	40-7253
多久市 福祉課	75-4823
小城市 福祉課	73-8820
神埼市 高齢障害課	37-0111
吉野ヶ里町 福祉課	37-0344

認知症サポーターになるためには「認知症サポーター養成講座」を受けて早期発見のポイントや関わり方について楽しく学び、サポーターの証である「オレンジリング」を受けとります。

詳しいお問い合わせは、お住まいの左記担当課までお願いします。

認知症サポーターになるためには

要介護状態となる原因の第二位は認知症

要介護認定を受けた方の3人にひとりの方は、『認知症』が原因で介護保険を利用されています。

認知症は、日常生活習慣とも関連が深いため、日頃から予防や早期発見に努めるとともに、認知症の方やその家族を支える取り組みが大切です。

認知症ってどんな病気？

認知症は、脳の知的機能が低下して、日常生活に支障をきたす状態のことをいいます。

最近、物覚えがわるくなった、集中力がなくなった、物事の段取りがわるくなったなどの症状が気になってきたら、「年だから…」と思いきまず、早めにかかりつけ医へ相談しましょう。

認知症の方にやさしい
まちづくりをめざしていこう



現在、認知症の患者数は200万人を超え、約十年後には、300万人を超えると予想されるほど、認知症は身近な問題になってきています。

私たちが、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、できることは何かを考えてみましょう。



佐賀中部広域連合内常備消防広域化検討委員会を設置して統合の協議をしています。

平成23年4月に、佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町、佐賀中部広域連合（佐賀広域消防局）及び神埼地区消防事務組合による『佐賀中部広域連合内常備消防広域化検討委員会』が設置され、この委員会において、消防力、人事及び財政面等について、課題の分析を行い、広域化による消防の円滑な運営、消防力の強化や住民サービスの向上について、統合に向けて検討をしています。

検討するようになった経緯

近年、社会経済情勢の変化とこれに伴う地域社会の変化により、災害も複雑多様化するなど、消防防災行政を取り巻く環境は、大きく変化しています。このような状況の中、住民の安心と安全を向上させていくためには、総合的な消防防災行政を迅速かつ積極的に推進していく必要があります。

そこで、平成8年、佐賀市を中心とした5消防本部（当時18市町村）において消防の広域化に係る検討を行いました。

その結果、平成10年、佐賀市、多久市、佐賀郡及び小城地区の4消防本部（当時12市町）の管轄において広域化の合意がなされましたが、神埼地区消防事務組合（当時6市町村）を含む広域化の合意には至らず、平成12年4月、神埼地区を除く4消防本部において佐賀広域消防局が設立されました。

平成21年、神埼地区消防事務組合から佐賀中部広域連合に合併推進協議の申し入れがなされ、その後協議を開始することとなりました。

平成23年4月、検討委員会を設置し、佐賀県で作成した『佐賀県消防広域化推進計画』に基づき、消防力の強化と住民サービスの向上、消防行政運営の効率化と基盤の強化等を目的とし、統合を目指した協議をしています。

佐賀中部広域連合内の消防の現状

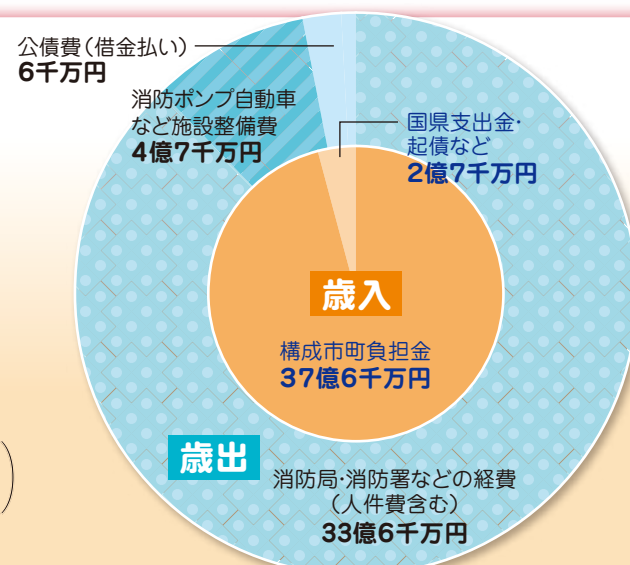


問い合わせ
佐賀中部広域連合内常備消防広域化
検討委員会事務局（佐賀広域消防局総務課内）
電話 0952-30-0111
FAX 0952-31-2119

平成22年度 消防特別会計決算 の公表

ここでは、平成22年度消防特別会計の決算概要をお知らせします。

（※千万単位のため、円グラフの歳入歳出のそれぞれ
の合計はP3の金額とは必ずしも一致しません。）

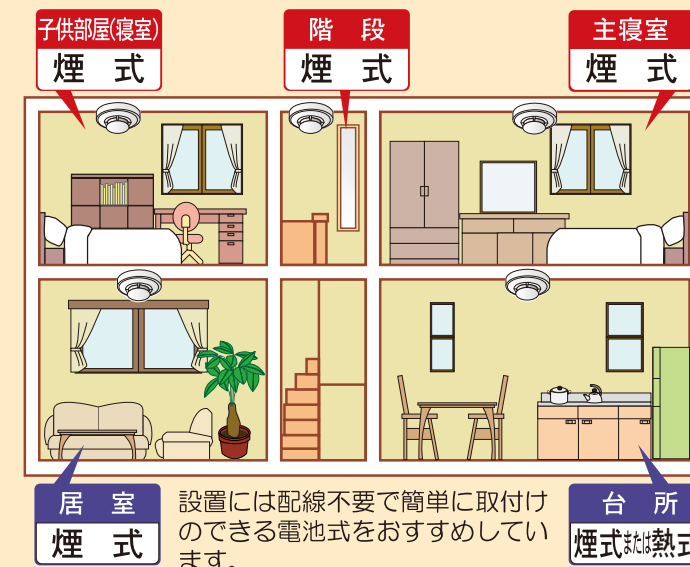


住宅用火災警報器の設置は義務づけられています。

住宅用火災警報器とは、火災による熱や煙を感知して音声や警報音で異常を知らせる機器です。

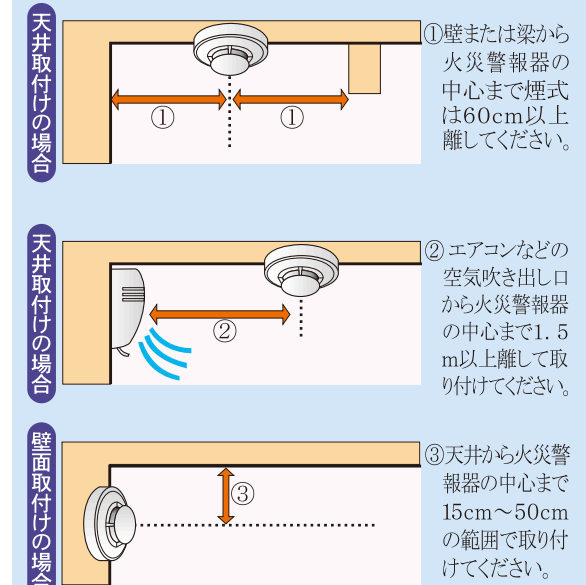
設置する場所

- 寝室・階段への取付けは義務づけられています。
- 台所・居室への取付けもおすすめします。



設置する際の注意点

- 梁や照明器具エアコンの吹き出し口などに注意してください。



住宅用火災警報器について良かった！

事例1



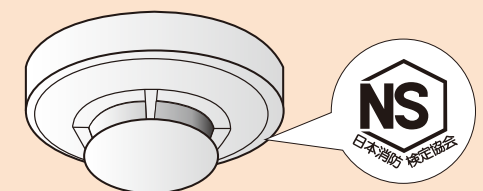
寝たばこにより火災が発生し、住宅用火災警報器が煙を感知した。警報音で本人が目覚まし布団に水を掛けて消火したので大事に至らなかった。（たばこの火の不始末）

事例2



住宅用火災警報器の『火事です』という音声で気付き119番通報後、コンロの火を消したので火災には至らなかった。（鍋の空焚き。）

購入の際には、この『鑑定マーク』を目安にしてください。



日本の法令に適合することを日本消防検定協会が保証するものには、「鑑定マーク（NSマーク）」がついています。

※マークの付いている場所は機種により異なります。



3.11大震災・介護第5期計画で論戦!

佐賀中部広域連合8月定例議会

佐賀中部広域連合議会8月定例議会は、8月23日から26日まで開かれました。

平成22年度の一般会計、介護保険特別会計、消防特別会計の決算議案が提案され認定されました。また、本年度の補正予算、平成22年度に計上していた介護基盤緊急整備特別対策事業や北部消防署建設用地(大和町)購入事業の次年度繰越などをそれぞれ可決しました。

一般質問には9名が立ち、議案質疑は1名が行いました。今回は、とくに3月11日の東日本大震災をうけての防災、東京電力福島第一原発災害をふまえての玄海原発についての対応、現在策定中の来年度からの第5期介護保険事業計画に関する問題などに論戦が集中しました。

誌面の都合上、今回は質問議員の氏名と項目のみの紹介といたします。



第5期介護保険事業計画策定委員会

一般質問・議案質疑

一般質問

川崎直幸 (佐賀市)

①第五期佐賀中部広域連合介護保険事業計画について

山下明子 (佐賀市)

①改定介護保険法について
②保険料・利用料の負担軽減について

野副芳昭 (神埼市)

①特定福祉用具の購入は、利用者に満足できているか

平間智治 (多久市)

①24時間対応の定期巡回随時対応型訪問介護について

諸泉定次 (小城市)

①介護保険の徴収について
②住宅改修について
③原発対応
④ドクターカーへの対応について
⑤神埼地区消防事務組合との統合について

佐藤知美 (神埼市)

①常備消防の充実について

野口保信 (佐賀市)

①東日本大震災発生を受けて消防局の今後の対応について

白倉和子 (佐賀市)

①介護予防事業について
②消防行政について

松尾義幸 (小城市)

①例規集の管理について
②消防行政について

議案質疑

・佐藤知美 (神埼市)

①平成22年度介護保険特別会計決算中、介護予防特定高齢者施策事業費委託料の不用額6,148万4千円について

〈編集責任〉
佐賀中部広域連合議会広報特別委員会 平成23年10月31日現在
委員長 平原嘉徳
委員長 山下明子
委員 松尾義幸
委員 野副芳昭



介護広域委員会

〔日程〕平成23年7月11日(月)～13日(水)

1. 岐阜県揖斐広域連合

2. 愛知県知多北部広域連合

いずれも第5期介護保険事業計画策定の取り組みについて

揖斐広域連合は、岐阜県揖斐川町、大野町、池田町の3町で構成され、人口73,699人、高齢化率24%、認定率15.7%。

第5期の事業計画にむけて

委員の公募は行わず、住民代表としては民生委員を各構成町から2名ずつ選出されていた。事業策定は業者に委託とのこと。包括支援センターは合併前の旧町ごとに3ヶ所設置されているが、875平方キロのうち800平方キロを占める揖斐川町でも1カ所であるため、支所でも対応し、社協支部とも連携しているとのことだ

が、合併前より不便をかけている所もあるとのことだった。

知多北部広域連合は、東海市、大府市、知多市、東浦町の4市町で構成され、人口33万人あまり、高齢化率は19%、認定率は14.7%。

高齢者実態調査は知多半島の10市町共同で日本福祉大学に委託し、第5期計画は事業計画推進委員会に諮りながら連合自前で策定される。

の減免実績が56件と佐賀中部広域連合より多く、特別養護老人ホームの待機者は500名程度で佐賀(1,498人)より少ない。包括支援センターへの相談件数は5万件を超え、よく機能しているようだ。第5期にむけて、保険料をどこまで抑えられるか、地域包括ケアをどこまでやれるかが課題とのことだった。



揖斐広域連合での研修

視察報告

消防委員会

〔日程〕平成23年7月20日(水)～22日(金)

1. 京都市市民防災センター

施設概要

②防災体験

防災センターは、地震・強風・避難・消火等の体験や消防ヘリフライトシミュレーション等の体験を通じ、市民が防災に関する知識や技術の普及向上と防災意識の高揚を図る目的で設置されている。

運営管理は、財団法人京都市防災協会が、年間予算約1億5千万円が京都市

から支出されている。体験プログラムでは、防災知識や行動を「見る」「聴く」「触れる」「感じる」で学び、防災の意識と行動が高められ暮らしの安全が守られている。

佐賀中部広域連合管内にはこのような施設はないが、市民への防火・防災意識の高揚には有効な手段で、財政事情が許すなら設置したいものである。

2. 関西電力美浜原子力PRセンター

①原子力発電所の概要

②防災対策

PRセンターでは、原子力発電の仕組みや放射線の知識を学び、事故に対する発電所の防災体制の説明があった。

常備消防に対する被曝保護の装備や機器の貸与も準備されていたが十分な数とは言えなかった。

わが県においても、玄海原子力発電所を擁しているのに、消防防災関係者の更なる知識と技術の向上が緊急に求められ、国・電力会社・自治体・消防機関が

③京都市消防局

①京都市消防局の概要

②消防救急無線デジタル化実証実験

③指令センター見学

消防・救急活動では、個人情報保護の観点から通信の高度化が求められる。アナログ無線では、大容量の伝達等が極めて困難であり通信ニーズの有効利用にはデジタル方式が不可欠である。京都市消防局では、150MHz帯と400MHz帯の2種類の無線設備を使用。平成28年5月末までに150MHzをデジタル方式に移行する。



京都市消防局 指令センターの視察



〈佐賀市〉 第9回SAGAバルーンチャレンジシリーズ・バルーン朝市

日程 第2戦: 12月18日(日) 第3戦: 1月29日(日) 第4戦: 2月12日(日)

場所 佐賀市嘉瀬川河川敷(嘉瀬川防災ステーション)

コメント バルーンを身近に感じることができる大会です。バルーンに無料で体験搭乗できます。また、大会と同時にバルーン朝市を同時開催。地元特産品や温かい食べ物のお買い物を楽しみながら、バルーンをご覧ください。

お問合せ 熱気球大会佐賀運営委員会

☎0952-29-9000



〈多久市〉 多久聖廟お火たき・初詣

日程 平成23年 12月31日(土)～元旦

場所 多久聖廟

コメント 大晦日の23時45分から元旦にかけて、地元有志によるお火たきが開催されます。儒学の祖で学問の神様・孔子を祀る多久聖廟には、学業成就を願う学生や家族、一年の家内安全を願う多くの参拝者でにぎわいます。参拝者にはボランティアによる「しょうが湯」などがふるまわれます。

お問合せ 多久市商工観光課

☎0952-75-2117



〈小城市〉 小城市三里牛尾梅まつり

日程 平成24年 3月3日(土)、4日(日)

場所 小城市小城町牛尾神社周辺

コメント 牛尾神社は源義経や弁慶が腰旗を奉納し、源頼朝が神領を寄進したという由緒ある神社です。この神社の裏山一帯が梅林で、シーズンには10,000本の梅の花が咲きます。(開花時期2月中旬～)この牛尾梅林一帯で、「小城市三里牛尾梅まつり」が開催され、花梅、梅加工品、農産物などの販売や、楽しい催しものもありますので、ご家族ご近所お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

お問合せ 小城市三里牛尾梅まつり実行委員会

☎0952-66-8820



〈神埼市〉 吉野ヶ里ロードレースin神埼市

日程 平成24年 1月29日(日)

場所 吉野ヶ里歴史公園内及び周辺コース

コース 2km・4km・10km 申込み 12月21日(水)まで

参加費 小中学生(500円)・高校生(1000円)・大人(2000円)

コメント 新春の弥生の里で開催するロードレースは、「来てんしゃい、みんなで走っぎ楽しかよ!」と早春の風を切って走る楽しさでいっぱいのイベントです。

お問合せ 神埼市役所 産業建設部 商工観光課

☎0952-37-0107



〈吉野ヶ里町〉 吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市

日程 毎月第1日曜日 8:00～11:30

場所 吉野ヶ里歴史公園東口より吉野ヶ里公園駅北口の町道

コメント 新鮮な野菜や果物、海産物、工芸品等、自慢の品物を軽トラの荷台で直接販売! 地元ならではの商品や、掘り出し物がお得な価格でお目見えします。

お問合せ 吉野ヶ里町役場 商工観光課

☎0952-37-0350